



開講式風景

令和6年度城山公民館成人学校が4月に開校しました。本年度は全26講座で新年度のスタートを切りました。そして、今年も学ぶ意欲に燃えた多くの受講生が城山の丘に集いました。

さて、成人学校の学びにはいくつかの喜びがあると思います。その中には、学べる喜び、学ぶ時間のある喜び、学

城山公民館成人学校 開校

～充実した学びの時間を求めて～

報城山

発行所 長野市立城山公民館
電話 232-3111
編集 小池英樹
発行人
印刷所 法令印刷

公民館区世帯数
(6・6・1)
第1地区…2,771
第2地区…5,500
合計…8,271世帯

びの友を得られる喜びなどが含まれているのではないでしょう。城山公民館では、成人学校各講座の学びをとおして様々な喜びを得て、生き生きとした日々や豊かな表現力を獲得していただけたらと願っています。

城山公民館成人学校には、まだ定員に余裕のある講座がありますので、遠慮なくご見学やお問合せのうえ、受講を検討いただければと思います。ぜひ、成人学校で一緒に学ぶ喜びを味わってみませんか。

(館長)

お知らせ
「書道初級」講座(金曜午前)の講師が代わりました。
瀧沢曲峰先生から
川村文齋先生へ

「楽しくソーイング」講座を受講して



内堀 和果奈
現在、中学家庭科教師を目標

している大学4年生です。裁縫に自信がなく、将来中学生に教えることについて不安がありました。そんな時、ゼミの先生に薦められ、この講座を知りました。

学校では、基本的な縫い方、ミシンなども教えることががあるので、まずは、教師の自分ができていないとダメです。ゼミでは、浴衣やブラウスを作ったことはありますが、自分だけでできる裁縫を身につけたいと思っています。

受講する前は、きちつと授業されているのかと思いましたが、みなさんフランクで、和やかな雰囲気がよかったです。また、年代の違う方々とふれあう機会が貴重です。

これからは、ワンピースなど自分の作りたいものにチャ

レンジしたいです。

「お仕事帰りにたしなむ茶道」講座を受講して



内山 美有
新年度、何か新しいことを始めたいと思っています。

めたいと思っています。この講座を知り、勢いも大事かと思いい、思い切って申込みました。お茶には前から興味があり、小学生の頃に何回かやったことがあったため、道具も少し持っていました。

受講してみると、みなさん優しく、和気あいあいとされていて、私が間違えてもていねいに教えていただける入りやすい雰囲気があります。

特に、西村先生は優しく、「楽しくやっていきましょう」と気軽に声をかけてくださいます。授業も、堅苦しくなく、和やかな雰囲気です。毎週楽しく受講しています。

先輩を見てみると、サツと手が動いてお点前をされています。私も、1年かけてひと通りのお点前ができるようになります。働いています。が、仕事とのメリハリもつけて、頑張りたいと思います。

令和6年度 (6月現在) 城山公民館職員 公民館関係組織

館長 小池 英樹
係長 須田 公章
職員 花井 敦子
金子 みつ子
清水 祐希
星野 紗緒里

▽第一地区分館 育児

分館長 黒井 昭
分館主事 山口 慶治郎

▽「館報城山」編集委員

編集委員長 萩原 道朗
山口 美緒
山口 茂文
今井 一幸

▽城山公民館運営審議会委員

第一地区住自協会長 西澤 利治
第一地区福祉ワーカー 岡村 貴子

第一地区地域公民館連絡会 小田切隆一

第二地区住自協会長 寺島 頼利

第二地区青少年健全育成委員長 松田 愛絵

第二地区教養文化部会長 高橋 幸隆

副部会長 柳澤 響予

公民館使用団体代表 丸山 隆

湯谷小学校長 丸山 真弘
西部中学校長

特別寄稿

裾花川と長野市街地

その9

裾花川の扇状地と流路の変更

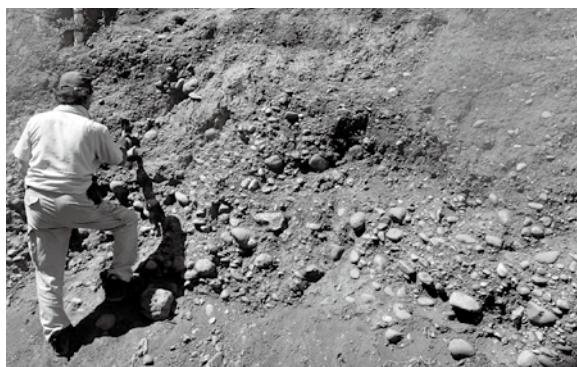
戸隠地質化石博物館

田辺 智隆



この連載

では、長野市の最高峰「高妻山」から流れ下る裾花川沿いの地質や地形を紹介してきました。鬼無里や戸隠の山々に降る雪や雨を集め、上流部は狭く深い谷となる裾花川は、長野盆地西縁断層を越えて長野盆地に流れ込みます。この断層は長野盆地をつくるもの



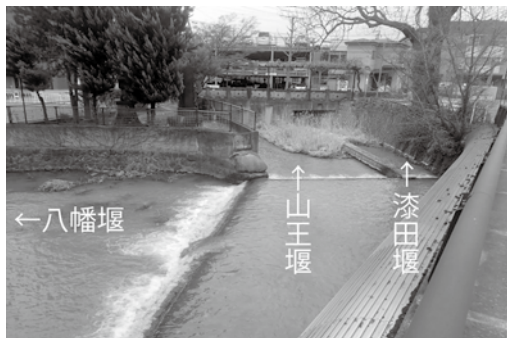
長野市の地下にある砂礫層（長野市三輪）

で、盆地側が沈み込み、西側の山々が隆起する活動を続けています。盆地のすぐ西側には旭山や大峰山、地附山などの山々がありますが、この断層の動きで隆起したものです。

断層の動きで沈み続けているのが長野盆地側で、盆地に流れ込んだ裾花川は自由に流れることができるようになりました。隆起を続ける上流側を川は削り、土砂を運び、流路を変えながら扇状地に広がった地形「扇状地」をつくるようになりまし。ですから、こうした扇状地の地下は洪水や土石流が運んだ土砂が堆積している、ということになります。「長野」という地名もこうした扇状地のつくる、緩やかに傾いた長い野原ともいわれます。長野市市街地の地下には、そうした川が運んだ砂や石ころでできた地層が確認されています。城山の県立美術館の建設工事で見つかった大きな石ころ（館報城山第190号参照）も、そうした裾花川が運んだ扇状地をつく

る堆積物です。ですから、中心市街地のほとんどが、鬼無里や戸隠、茅井や小田切などの裾花川上流流域の地層や岩石の破片でできていることになります。

扇状地をつくった川の流路を現在でも「堰」（農業用水）として見るができます。長野県庁のすぐ南、大口分水工で八幡堰・山王堰・漆田堰の三つに分岐しています。さらに北八幡・南八幡・古川・計渴などの堰に分岐して下流へ流れています。

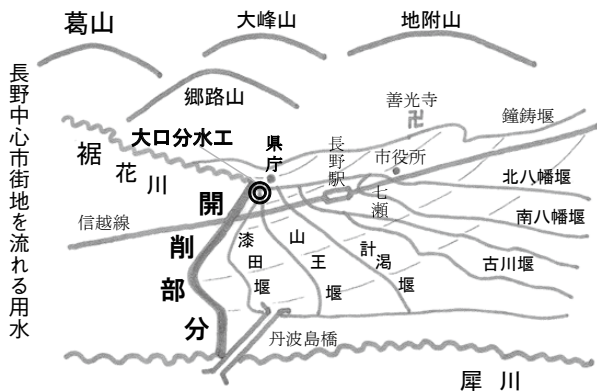


大口分水工

これらは、かつての裾花川の流路を利用したものです。現在、これらの多くの部分は都市化で暗渠（地下を流れる水路）になってしまったのであまり気がつきませんが、市街地の下には多くの川が流れ

ています。

裾花川の本流は、現在、長野県庁からほぼ南へまっすぐ流れ、丹波島橋で犀川に合流しますが、これは江戸時代初期に開削された人工の川です。人力で深く掘りさげ（開削）、最短距離で犀川に水を流すことにしたのです。それによって大雨の際に起きる洪水を防ぎ、さらにこれまで河原だった場所を新田として開発することも目的にしました。「七瀬」「しまんりよ（島「中州」の寮）」「新田町」などの地名は、市街地に多くの川が流れていたこと、その後の河川改修で新しい水田ができたことを示します。



退職のごあいさつ

清水 祐希



5年間、この歴史ある城山公民館でお世話になりました。

皆様の学びに対する真剣な姿勢を、成人学校の担当として最も近くで見せていただき、とても貴重な時間を過ごせたことを嬉しく思います。講師の先生方をはじめ、受講生の皆様、使用団体の皆様の、これからの大人の学びの時間がさらに素晴らしいものとなりますよう、心よりお祈り申し上げます。

着任のごあいさつ

金子みつ子



2月より、勤務しております。

す。この城山公民館は近隣の方はもちろん、市内外各地の年間延べ2万人以上の方に利用されています。そんな成人学校、各種市民講座、サークル等で毎日活気あふれる公民館に勤務できることをうれしく思っております。皆様が心地よい時間を過ごせるよう尽力していきたいと思っております。お気軽にお声がけいただけますと幸いです。よろしくお願いたします。

シリーズ 我が町 西町南 区長 北村 高明



西町南
は、国道
406号
線の西町
交差点よ

り南へ150m余り、東は大
門町南と西は長門町に並行し
た南北に長い町です。世帯数
は40戸余り、人口は凡そ95名
の小さな町ですが、町の歴史
は古く、善光寺宿が設定され
た慶長16年(1611)頃計画
的に町々が整備され、善光寺
八町の1つとして、自治的な町
人の町として栄えていました。
特に、江戸時代中期の御祭礼
の屋台は大変豪華なもので、
当時の西町の経済力を示して
いました。西町上の総黒漆塗
の屋台に対して、西町南の屋
台は朱色の漆塗赤屋台で「小
野小町」屋台といわれ、とて
も雅やかなものでした。残念
ながら明治6年(1873)
7月11日、出火原因不明のま
ま焼失してしまいました。ま
た、江戸時代より町の火災に
よる延焼から善光寺さんを守
るため、「畳差し」という防
火水路が西之門町から西町上
を通り、西町南へと続いていま
す。この水路は各家庭の地下

を通り、火災等の非常時に畳
を縦に差し込み貯水し、防火
用水とした先人の知恵であり
古い時代の遺産でもあります。
このように、西町南は江戸
時代から明治・大正・昭和の
中期頃まで商業で栄えた町で
した。しかし、近年、市街地
空洞化により商売をしていた
土蔵造りの家屋の多くが解体
され、駐車場が目立つ町にな
ってしまいました。また、住
民の年代層も後期高齢者が20
%以上を占め、高齢化率の高
い町となっております。
しかし、世帯数や住民は少
ない町ですが育成会活動は活
発です。一時期、子どもたちが
いないこともありましたが、若
い方の移住により、今は子ども
が15名ほどに増え、新年最初
に他町と合同での「どんど焼」、
夏休みには子どもを中心にし
たラジオ体操を行っています。
そして、秋には長門町・西町
上との3ヶ町が護持する長野
天神社秋季例大祭の子ども神
輿町内練り歩きを再開する予
定です。また、今年1月には
育成会と若い世代が中心とな
り、町内餅つき大会を開催し、
他町の方や通りすがりの外国

人観光客の飛び入り参加もあ
り大いに盛り上がりました。
町の活動は、他にも6月・
10月に町内ミニ公園の草刈清
掃作業、年末には住民有志に
よる歳末町内夜警を40年以上
続けています。



西町南区所有の子ども神輿

ミニ公園草刈・清掃活動



このように、西町南は市街
地中心部の小さな町ですが、
近年若い家族の方も増えてお
り、コミュニケーションを大
切に住みよい町づくりに励ん
でおります。

折々日記

燕が飛び交う町

萩原 道朗

「月チユルリチユルリラ」
と鳴くのは、森昌子の「越冬ツ
バメ」ですが、越冬しないツバ
メは「月チユビラ ジュイー」
あるいは「土食って虫食って
口洩い」を早口で言うのと、ツバ
メのさえずりになるそうです。
ところでツバメの餌は、飛
んでいる昆虫。寒くなると日
本では、昆虫がいなくなるの
で、冬には暖かい国へと飛ん
で行ってしまいます。そんな
身近な夏鳥が、全国的には減
ってきているようです。確か
に、家の軒下に巣を造り、床
が糞で汚れている光景が、久
しく見られなくなりました。
その背景には、餌場である
水田や畑の減少、巣作りがで
きる軒のある日本家屋の減少
など、私たちの暮らしの変化
と大きく関係しています。そ
れに、東日本大震災の津波に
よる繁殖地の減少や原子力発
電所での放射性物質の漏出事
故の影響も新たな懸念材料と
なっているようです。
想うは、正岡子規が詠んだ
《燕やひらりひらりと町の中》
という風景が、過去の諺にな
らないよう願うだけです。

涼しげで、美しい
ガーランドスワッグ

8月1日(木)
9:30~11:30

会場:城山公民館 本館
講師:青木 真理子さん
定員:10名(要予約)
材料費:2,300円
城山公民館(平日) 232-3111

親子で工場見学
～おと工場～

期日:7月31日(水)
集合:12時50分 城山公民館
※公民館でバス乗車(現地集合可)
見学地:マルコメ株式会社
午後1時30分~3時
対象:小学生と保護者 要予約
城山公民館 232-3111
参加費:無料

あなたを助ける
防災巾着づくり

日時:7月19日(金)
9:30~11:30

材料費:600円
講師:パッチワーク同好会
上石 利子先生・同好会員
申込み:城山公民館
☎232-3111(平日)

城山公民館企画 市民講座「自己との対話講座」

何もなかった人生
なんて、ない!
だから振り返ってみよう 講義会

7月9日(火)
午前9:30~11:30

場所:城山公民館 本館
講師:細川 順子さん
定員:15人
持ち物:筆記用具・マスク

お申し込みは
【城山公民館】(平日)まで

ご案内
今後の市民講座
お申込みを
お待ちしております



囲碁入門 対局風景



憧れのギターライフ

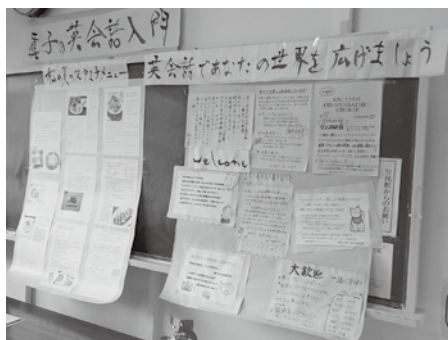
城山公民館成人学校の一年間の学習成果を発表する作品展・学習発表会を、今年も2月に行いました。

2月16・17日の二日間にわたって行われ、15講座の作品展、7講座のステージ発表、茶道2講座によるお点前など、多彩な展示・発表が行われました。そして、約600人の皆様がご来館され、作品展や発表を楽しみました。

令和5年度
城山公民館成人学校
作品展・学習発表会



パッチワーク・キルト



真子の実用英会話初級



書道「写経入門」



水曜茶道 お点前



たのしいハーモニカ教室



洋画

あちこちスナッパ



畳差し防火水路 (西町南)

西町南にある深さ1m、幅80cmの畳差し防火水路。ふだんは雨水の水路だが、火災等の非常時には、畳を縦に差し込み水路を止めて貯水し、消火に利用した。古くからの先人の知恵である。



路傍の石仏 (新諏訪)

新諏訪の戸隠古道入口近くに佇む不動明王と馬頭観音。この石仏には、時折、花や供物が供えられている。地域住民の石仏を大切にしている心が偲ばれる。

「シリーズ我が町」を毎回楽しみにしています。地区の歴史や活動が、温かみを帯びて伝わってくるのが好きです。

今回の西町南も然り。そのなかで初めて耳にした「畳差し」という言葉。一般的なものと編集委員会では、善光寺さんを火事から守ろうとする善光寺門前町の皆さんの独自の工夫なのだそう。

役目は終わった部分もあるかもしれませんが、地域に根付く知恵と思いの詰まった風景。ぜひ長く残ってほしいと思いました。(山口美)

編集後記

はるか、プレーメン
いまこそガーシュウィン
夜明けのはざま
清算
交換性の王子
川のある街
そそそそ
たんぽぽになりたいくて
おはなみパーティーさくらさくさく
ファラオの密室

重松 清
中山 七里
町田 そのこ
伊岡 瞬
栗井 脩助
江國 香織
たなか ひかる
南塚 直子
山田 花菜
白川 尚史

新刊図書のご案内